

(様式1・小学校用①)

令和4年度 学校評価報告

草加市立高砂小学校

(令和5年2月22日作成)

1 学校教育目標	
◎学校教育目標 あかるく かしこく たくましく ○キャッチフレーズ 笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校 高砂小	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
○「魅力ある授業」－児童が意欲的で主体的に取り組む－を実践する ○児童が主体的に目標を設定し、力一杯運動できる体育授業をつくり上げる。 ○「特別の教科 道徳」を中心に全教育活動を通して他者を思いやる人間関係を形成する。 ○目指す子ども像を共有化し具体的な活動を通して15年間の成長を実現する。	成果 ○感染症対策を講じながら、子どもたちが自己肯定感、自己有用感を育みながら学校生活を送らせることができた。 ○校長のリーダーシップのもと、教職員ハンドブックによって共通理解・共通行動をとりチーム高砂小として教育活動が進められた。 課題 ●今後も児童の自己肯定感、自己有用感をはぐくむ授業づくりを推進していく。 ●職員の特性がさらに発揮されるよう校務分掌を行い、チーム高砂小としての教育効果のさらなるパワーアップを図る

4 評価表 ※評価基準 [A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○ハンドブックの繰り返しの活用により学校経営方針が全職員に浸透し、アワーチームとなって教育活動を着実に推進できた。 ●教育目標の具現化のため、さらなる効率化を考え、実践していく必要がある。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○筑波大学附属小など外部から講師を招き、研修主任を中心に効果的な研修を実施することができた。 ●さらに研修を充実させ、更なる学力向上に取り組む。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○複合施設として、保育園・コミュニティセンター・児童クラブとの合同避難訓練を実施し、Jアラート訓練など新たな危機管理の避難訓練を実施できた。 ●緊急時に、児童が自発的に行動できるように指導を行っていく。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○適切に情報の管理が行われ、個人情報等の管理の徹底が図れた。 ●物の管理に甘さが見られた。引き続き備品等使いやすいように管理指導を行う。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○学校HPのカウント1万回達成と積極的な情報発信を行うことができた。 ●コロナ禍の制限があり難しい面があったが、感染対策を講じ地域との交流を行っていく。

⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	B	<p>○小学校参観、幼稚園の給食体験、中学生合唱鑑賞等中止となっていた交流を復活させることができた。</p> <p>●幼保小中を一貫した学びを更に充実させていく必要がある。</p>
--------------	---	---	--

(様式1・小学校用②)

草加市立高砂小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保 	A	<p>○教育計画を適切に実施し、円滑な教育活動を実施できた。</p> <p>●主体的に活動できる児童の育成を引き続き行っていく。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用 	B	<p>○外部から積極的に講師を招き、教育活動を実施できた。</p> <p>●さらなる学力の向上に取り組む必要がある。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進 	B	<p>○道徳の授業を充実させ、道徳的実践力の育成を行うことができた。</p> <p>●各教科との関連を深め、学級経営に生かしていく必要がある。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携 	B	<p>○ALTと連携を深め、児童が意欲的に取り組む授業が実践できた。</p> <p>●授業参観等、中学校との連携を深めていく必要がある。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動 	B	<p>○感染症対策を講じながら、学校行事を円滑に実施できた。</p> <p>●話し合いや活動を充実させる授業を更に実践していく。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○外部講師を活用し、学年単位での様々な授業を行うことができた。</p> <p>●課題意識を持たせる授業の構築を実施していく必要がある。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>○生徒指導主任を中心に、組織的に問題解決に取り組むことができた。</p> <p>●いじめや不登校の問題改善に向け引き続き取り組みを行っていく。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化 	B	<p>○キャリアパスポートを活用した取組を全校で行っている。</p> <p>●中学校と連携したキャリア教育の実施が必要である。</p>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	B	<p>○教育支援室と深く連携し、個に応じた指導を充実させることができた。</p> <p>●校内研修を充実させ、指導の工夫等を充実させていく。</p>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	<p>○読書賞状や各学級での取組等、本に親しむ児童がとても多い。</p> <p>●本を読まない児童との2極化解消を引き続き行う。</p>

⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<p>○タブレット端末の有効的活用が、授業中に見られた。</p> <p>●どこでもどのクラスでも使えるネットワーク環境の改善が急務の課題となっている。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○校内研修や資料の配布等、人権感覚の意識向上に取り組んでいる。</p> <p>●外部人材等を活用した、人権感覚の育成が必要となってくる。</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立高砂小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①学校教育目標 あかるく かしこく たくましく の具現化	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・組織的な対応 ・基本的な生活習慣の定着 	A	<p>○昨年度に引き続き、自己肯定感、自己有用感を育む研究に取り組み、全職員の肯定的な言葉がけで、明るい児童が育っている。</p> <p>●改善も見られるが、引き続き地域への挨拶が課題である。今後も、継続的に指導を行う。</p>
	②開かれた学校 家庭・地域・社会 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・環境整備 ・人材の活用 	B	<p>○地域防災訓練、外部講師を活用した授業、HPの積極的な情報発信等開かれた学校づくりを实践できた。</p> <p>●コロナ禍後を見据えた、人材の有効的活用の再検討を行う。</p>
	③働き方改革を柱とした業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務削減 ・校務の精選 ・環境整備 	B	<p>○「早期退勤」を促す放送や調整の積極的消化等、在校時間を減らす取り組みができた。</p> <p>●昨年度に引き続き、抜本的な業務量の削減・スリム化に取り組んでいく。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

・昨年度同様、校長のリーダーシップのもと、高砂小ハンドブックを繰り返し全職員で確認することで、共通理解、共通行動のもと、自己肯定感、自己有用感を育む児童の育成ができた。

・感染症対策を講じながら、持久走大会や地域防災訓練等、保護者、地域と連携し、円滑な行事を運営し、地域との信頼関係の結びつきが強まった。

・毎月の安全点検をもとに、感染症対策だけではなく、施設設備の安全にも全職員がアンテナを高く保ち、高い危機管理意識をもって教育活動に取り組むことができた。

・HPの積極的な更新、学校保健委員会の動画公開、「すぐーる」を活用した保護者への情報発信等、開かれた学校づくりが推進できた。

6 次年度の改善策

・引き続き、わかりやすい授業づくりの实践を全職員で行い、自己肯定感、自己有用感とともに学力の向上に取り組んでいく。

・コロナ禍で活用できていない学校応援団等とのかかわりを見直し、有効的かつ効率的な人材活用の実施を行う。

・在校時間を削減できるように、行事のスリム化や、教育計画のスリム化等、働き方改革を次年度も推進していく。

・タブレット端末の授業や業務での有効活用を校内で研修し、共有することにより全職員でICT活用の充実に取り組む。